

創

—第 82 回—

繁栄は友を作り、
逆境は友を試す

何事もうまく進んでいる時には多くの人が近くに集まってきます。しかし苦しい状況に置かれた途端に遠ざかる人達もいます。仕方ないと思う部分もありますが、そんな時には確かに悔しい思いもするでしょう。私の場合周囲から、なぜ裏切られても裏切られてもその人を信用するのか？と、たしなめられることがよくあります。あまり気にしない性格なので、周りで見ている方がヤキモキするのもかもしれません（笑）。

大切な事は、自分がどう生きるかであり、恥じない生き方や行動をする事だと思えます。人にとやかく言うよりも、自分を磨き続けられれば良い。それで十分です。



別府市長
長野 恭紘

きをし、裏切りも当たり前前、そんな感じでしょうが、それはドラマでの政治家の演出が酷すぎるからです（笑）。

政治の世界において最も重要なのは、信用と信頼だと思います。有権者からの信用信頼は当然です。そして政策的にも「何を」するかより「誰と」するかが成果を分けまします。問題は、それを理解していません。

正に、調子の良い時だけ擦り寄ってきて、苦しい状況になるとサッサと逃げて行くのではご一緒できません。そんな姿を有権者はしっかり見えています。

統一地方選において、ぜひその様な視点も大切に投票していただけたらと思います。

（2月9日執筆）



フォトべっぷ



健康・食・安心・経済を支える—1月21日、「春木川パーク」東エリアのオープニングセレモニーを行いました。同エリアにはうどん店、広場、管理事務所を設置しました。スーパーマーケットや人工芝のグラウンドを設置する西エリアは引き続き整備を進めます。



温泉観光で誘客タッグ—2月2日、別府市と松山市とで観光交流都市協定を結びました。今後は、イベントでのブース出展や周遊プランを商品化するなどして両市への相互送客の促進や大阪・関西万博に向けたPRに取り組みます。



3年ぶり通常開催—2月5日、別府大分毎日マラソンが開催されました。おとしは中止、去年は規模を縮小して開かれましたが、今年は3年ぶりの通常開催で国の内外から3,539人が出場しました。沿道には多くの人が集まり出場者に声援を送りました。



地域に貢献—2月8日、別府市はゆめタウン別府を運営するイズミから企業版ふるさと納税として2億5千万円の寄附を受けました。いただいた寄附は新たに整備する図書館などに有効活用する予定です。